

浜っ子だより



平成22年5月28日
南知多町立豊浜小学校

今、“世界卓球”が、モスクワで行われています。25日に行われた女子の台湾戦は見応えがありましたね。特に注目したいのが平野早矢香選手です。2 - 2（5試合の内、3試合をとれば勝ち）になった5人目で、5セット（最終セット）のジュース（10：10になること）を何回も繰り返し、途中何度もあった相手選手のマッチポイントをはね返して逆転勝利しました。そこで、平野選手がいつも口にする「練習は、うそをつかない。」という言葉思い出しました。練習の虫が勝負の鬼と化したとき、平野選手のような力が出るんだと実感しましたよ。

また、男子チームの宮崎監督のアドバイスの声が映像を通して伝わってきました。「足を動かして、声出していこう！」世界最高レベルでも、私たちが子どもたちに送るアドバイスと同じなんだなあと、何だかうれしくなりました。

優勝が決まるまでしばらくありますので、毎夜、目が離せない日が続きます…。

お米や米作りについて教えていただきました… 5年生（5 / 25）



5月25日の3時間目に、オーガライフ試験農場株式会社南知多農園長の滝本全浩さんにお越しいただき、米作りについて指導していただきました。

子どもたちは、刈り取った稲を実際に手に取りながらお話を聞きました。家田 侑さんは、毎年同じ土地で米を作ることができる『連作』について、しっかりと記録していましたね。山下耕生君は、古代米とコシヒカリの違いについて質問しました。滝本さんから「コシヒカリは主食に、古代米はもちをつくときに使うよ。」と答えを聞くと、山本佑利君は「そうか～。古代米って、もち米なんだ～。」と納得していました。山本龍生君は、二つの米の色の違いについてたずねていました。滝本さんから「長年かけて改良を重ねて、色も味もよくなったんだよ。」と教えてもらいました。

とってもいい勉強ができました。6月3日の“田植え”がいっそう楽しみになりましたね！（滝本さん、毎年のことですが、本当にありがとうございました。）

南知多町小学校陸上大会に参加しました（5 / 27）

5月24日の朝会で、「陸上大会選手激励会」が行われ、みんなで健闘を誓い合いました。

いよいよ本番まで、3日となり、選手諸君からは緊張感も伝わってきました。私は朝会の話の中で、「明るく元気にたたかってきてほしい。あいさつや返事も、他校より元気よくね。」とお願いしました。

さあ、いよいよ当日がやってきました。



風は強いものの、好天に恵まれ、南知多町小学校陸上大会が内海中にて行われました。私は、選手が乗ったバスを送り出す前に、「選手になりたくてもなれなかった人や応援してくれる人のことも考えて頑張ってきてほしい。あいさつ・あつまり・あとしまつは、他校に負けないように...。」とエールを送りました。



選手諸君は、学校の代表として一生懸命頑張ってくれましたよ。きっと、それぞれに“思い”をもって、参加してくれたんだろうと思います。

私は、学校へ帰ってきた選手諸君に、いつもの力が出たか聞いてみました。力が出たと手を挙げた選手がわずかだったので、「本番の試合とは、このように厳しいもので、その経験を積み重ねることで力が発揮できるようになるんだよ。」と話しました。(私の経験からも...) 選手諸君！今日の経験を、今後の生活や試合に必ず役立ててくれると信じていますよ。

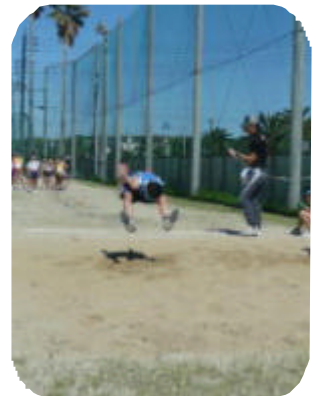


また、今年も選手以外の方が積極的にお手伝いをしてくれました。うれしかったな~。うん、君たちのお陰で、素晴らしい大会が運営できたんだよ。そして、内海中学校の生徒の皆さんも、全員で石拾いをしてくれたとのこと。本当に、ありがとう！風が強くて、テントは立てられませんでした。ブルーシート前に脱がれた履き物が、きちんとそろえられていたことも感心でした。



数少ない機会ですが、このように他校と一緒に競い合う経験は、子どもたちにとって貴重だと改めて感じました。

保護者の皆さんにも、たくさんの方に応援いただきました。心より、お礼申し上げます。



- 第1位 大岩 蓮 (5年以下100メートル)
 大川詔平 (5年以下ボール投げ)
 山下恵生 (5年以下走り幅跳び)
 石山美裕 (6年100メートル)
 牛田有香 (6年走り高跳び)
 女子400メートルリレー
 (石山美裕、高木瑚春、飯田梨乃、牛田有香)
- 第2位 家田 侑 (5年以下ボール投げ)
 杉山未歩 (6年ボール投げ)
 石原 隼 (6年走り高跳び)
- 第3位 飯田梨乃 (6年100メートル)



“ 子供を不幸にする一番確実な方法は いつでも何でも
 手に入れられるようにしてやることだ...よね ”

天 晴